

日本物理学会領域2役員会議 議事録案

日時: 2023年3月22日(水) 18:00-19:00

Zoom オンライン開催

司会: 領域2代表 千徳, 藤堂, 長崎, 稲垣, 本島, 相羽, 福田, 藪内, 四竈, 齋藤, 佐々木, 三瓶, 菊池, 徳澤, 書記: 四竈

配付資料: なし

報告・議論事項

- 1) 2023年4月からの役員体制・役割分担
- 2) 新役員の推薦と領域代表, 領域副代表の候補について
- 3) 2022年秋季大会学生優秀発表賞に関する報告
- 4) 若手奨励賞(第17回(2023年))に関する報告
- 5) 第78回年次大会(2023年)シンポジウム・招待講演等の提案
- 6) 領域委員会の報告
- 7) 領域2での確認事項
- 8) 講演件数の推移
- 9) 講演概要集提出率
- 10) その他

報告・議事内容

- 1) 2023年4月からの役員体制・役割分担

下記体制を運営会議で承認する.

領域代表 藤堂 泰 (核融合研)

領域副代表 長崎 百伸 (京都大学)

領域前代表 千徳 靖彦 (大阪大学)

役員 (本島, 相羽, 福田), 運営委員 (藪内, 四竈, 齋藤, 佐々木, 三瓶, 菊池)

- 2) 新役員の推薦と領域代表, 領域副代表の候補について

2023年10月からの次期役員の候補として以下の3名を推薦する.

徳澤 季彦 (核融合研), 松山 顕之 (量研機構), 安部 勇輝 (大阪大学)

2023年4月からの領域代表, 副代表として以下の通り推薦する.

領域代表 藤堂 泰 (核融合研)

領域副代表 長崎 百伸（京都大学）

2024年度の領域代表・副代表は、今年の10月中旬に推薦する。

3) 2022年秋季大会学生優秀発表賞に関する報告

37名の応募者から、以下5名を選出。なお、2018年秋季大会から受賞回数の上限が2回までとされた。

- 浅井 孝文（神戸大院海事）（2回目）
「水素クラスターターゲットと高強度レーザーとの相互作用による準単色 multi-MeV 陽子線の繰り返し発生」
- 藤田 航平（阪大レーザー研）
「種磁場なしのマイクロチューブ爆縮によるメガテスラ磁場の生成」
- 杉本 馨（阪大院理）（2回目）
「超高強度レーザーによる臨界密度プラズマの自己組織化で発現する陽電子生成および陽電子加速機構」
- 南 卓海（阪大院工）（2回目）
「kJ級ピコ秒レーザーの直接照射による large-area suspended graphene target を用いたイオン加速」
- 高木 悠司（阪大理）
「運動論的レーザー吸収で発生する電子フラックス特性の統計的解析」

4) 若手奨励賞（第17回（2023年））に関する報告

3名の応募者から、以下の2名を選出。

- 釵持 尚輝（核融合科学研究所）
研究題目：磁場閉じ込めプラズマの非局所輸送に関する実験的研究
- 松尾 一輝（株式会社 EX-Fusion）
研究題目：レーザー核融合高速点火方式における高エネルギー密度磁化プラズマ中での熱輸送に関する実験研究

次回から、若手の自主的な応募を奨励する趣旨で、授賞規定、申請書を改定する。改定を運営会議で承認する。

2. 応募資格

年齢カウントの基準年度を授賞年度から応募年度に変更する。

4. 応募と審査の方法

推薦を無くし、自身の申請のみとする。対象研究に対して意見を伺える照会者2名を記入する。これまでの自推の規定にしたがって、紹介者は非会員でもよい。提出書類に国内外講

演リストを追加.

5) 第 78 回年次大会 (2023 年) シンポジウム等の提案

企画講演 (0 件提案)

招待講演 (0 件提案)

シンポジウム (0 件提案)

現時点で, 招待講演 2 件, シンポジウム 1 件の提案の可能性あり.

学会の公募受け付けは 4 月下旬までなので, 引き続き提案を受け付ける. 提案者は 3/31 までに提案書を千徳 (cc: 薮内) にメールで提出. 提案はメーリングリストで審議する.

6) 領域委員会 (2022 年 11 月 25 日) の報告

第 78 回年次大会 (2023 年 9 月 東北大学) について, 参加登録費・開催形態の望ましい組合せについてのアンケート結果.

⇒ 参加費据え置きが望ましいとの回答が多い.

将来的には参加費が現在の 8,000 円から値上げされる可能性もあり.

7) 領域 2 での確認事項

以下の事項が再確認された.

メーリングリストの運用ルール

- ・ 添付ファイルは常識の範囲内で「1MB 以下の pdf」
- ・ 受賞報告を ML で配信可
- ・ 不適切なメールは領域 2 代表の責任下で役員会の了承のもと削除できる.

学生優秀発表賞

- ・ 一次審査の審査委員の人数を「3 名」から「3 名以上」とする.
- ・ 受賞回数を 2 回に制限する.

8) 講演数の推移

前回 112 件

今回 87 件

オンライン開催でも必ずしも講演数が増えていない. 100 件程度での維持を目指したい.

9) 概要集提出率

94.3%

他領域と比較して特に問題ない.

10) その他

懇親会

日時：3月24日（金）19:30-21:00

場所：オンライン

第78回年次大会では、対面で開催予定.

講演キャンセル

3/22 午後の講演で2件のキャンセルがあった。もし事前連絡無しかった場合は、注意喚起が必要.

以上